

# 学んだアタック精神

福岡小 山本さん(バレー男子)  
元日本代表)指導

二戸

北京五輪に出場したバレーボール元日本男子代表の山本隆弘さん(38)が21日、二戸市の福岡小(太田郁夫校長、児童316人)で講演と実技指導を行った。早稲田大が主催する東京五輪

関連の事業で、子どもたちは夢や目標を持つ大切さを学んだ。

講演は5・6年生99人が聴講。山本さんはバレーボールを始めたきっかけや挫折経験を紹介し、「小さくてもいいから、毎日目標を

持ってほしい。そして諦めずに最後まで、一段一段大きな夢にたどり着いてほしい」とエールを送った。

6年生対象の実技指導では、オーバーパスなどを丁寧に指導。迫力のレシーブの披露には歓声が上がった。長畑瑛留<sup>えいる</sup>さん(6年)は「きれいなフォームで、まねしたいと思った。普段の生活でもバレーボールでも、目標を持って頑張りたい」と目を輝かせた。

事業はスポーツ庁2020東京五輪・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業の一環。2016年度から始まり、県内では同校のほか3校で行われた。



福岡小の児童にオーバーパスのポイントを指導する山本隆弘さん